

参加無料

よりよい岡崎をつくる、市民発100のプロジェクト。

新世紀岡崎チャレンジ100



『家康塾』 白熱教室岡崎 <http://challenge100.jp/projects/detail/ID-41>

岡崎市水循環推進協議会：緑のダム部会長の講座

「森と水の恵み」

蔵治光一郎 講師

(東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林)

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/~kuraji/>

2回:10月30日(日)・3回:11月27日(日)・1回終了:9月25(日)

10時～12時 +交流30分 会場:(シビックセンター内:羽根町)

南部市民センター 3階:体育集会室 (当日先着順 96人)

岡崎市の水道水のうち、自己水(自ら水利権を持っている水)の割合は75%であり、そのうち85%は市内を流れる乙川の水です。愛知県の中でも岡崎市は、名古屋市と並んで「水の自給率」が特に高い自治体です。しかも名古屋市と異なり、岡崎市の自己水の水源は、すべて岡崎市内の森林になっています。これは、名古屋市の水源が岐阜県・長野県であるのとは大違で、岡崎市は、「市内の水源の森林に降った雨を集め、それを水道水として使っている」とても環境に優しい自治体といえますが、市民が水の恵みを永続的に享受するためには、水源の森林の水源涵養機能が適正に発揮されている必要があります。

この講座では、こうした岡崎市の「森と水の恵み」について、専門家が3回にわたり講義し、受講生のみなさんと意見交換を行います。

※平成26年「岡崎市民大学」講師

Social Common Capital

社会的共通資本 としての森

宇沢弘文・関良基 [編]



『社会的共通資本としての森』(宇沢弘文・関良基
編、東京大学出版会、2015) 分担執筆

第1部 森は緑のダム 第1章 森林の保水力と
緑のダム機能 (蔵治光一郎・五名美江) 49～104頁

コミュニティシンクタンク (CT) 担当: 太田電話 58-5549

問い合わせメール: chouct8@gmail.com

後援: 岡崎市教育委員会



福井県立大学出版部

福井県立大学出版部

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

水と森の恵

